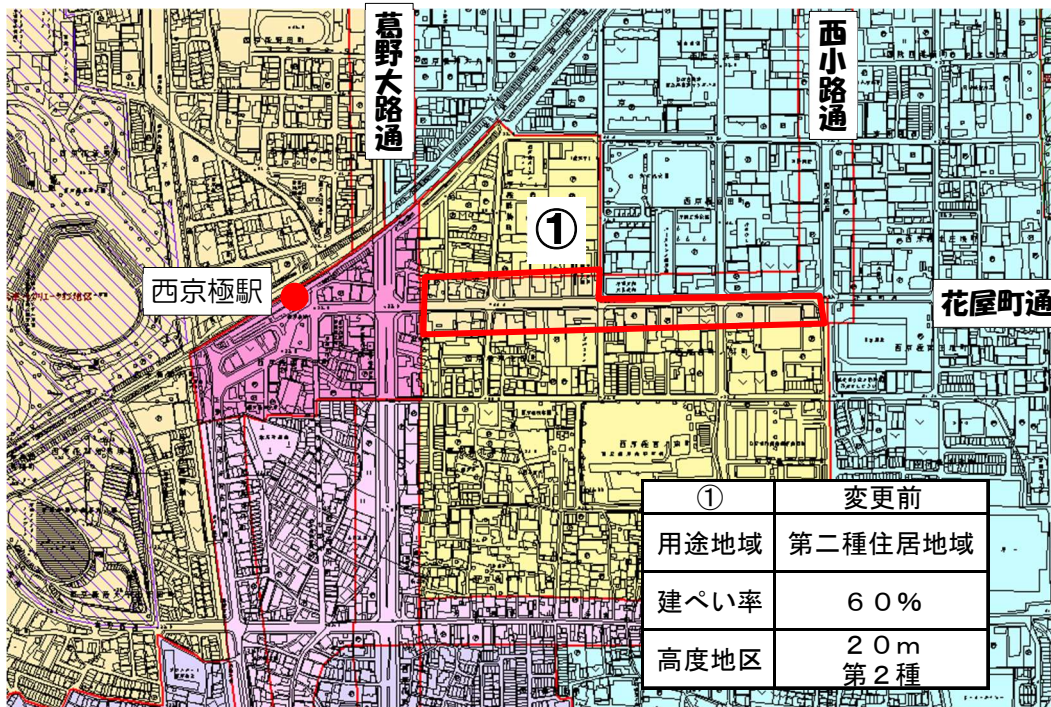


【ガイドプラン見直しの方針・内容】

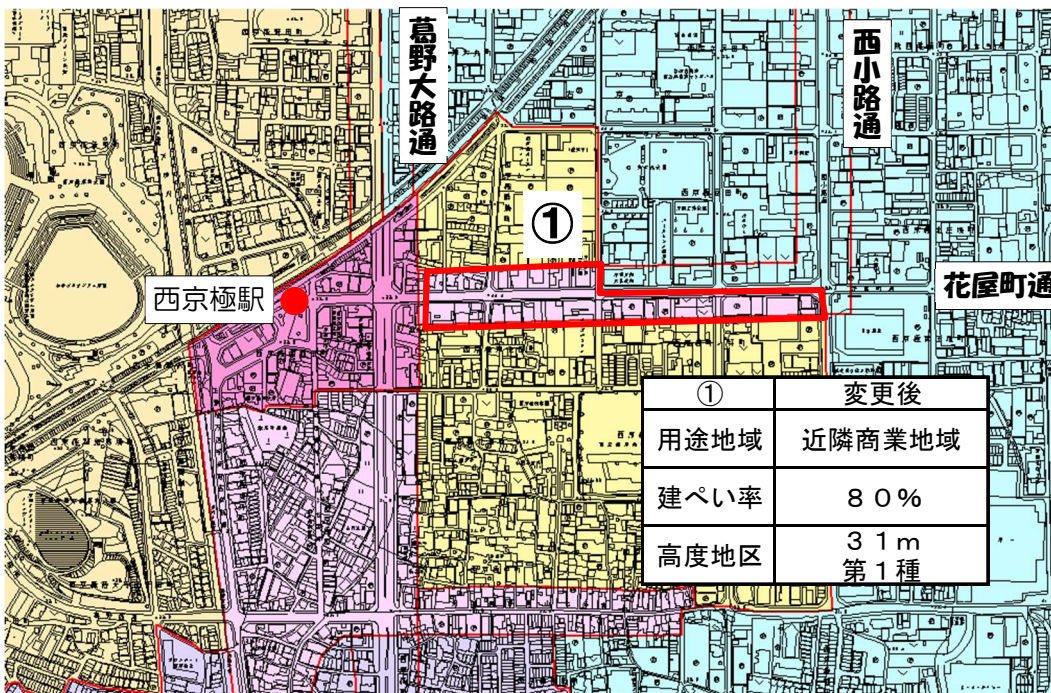
西京極駅の北東エリアにおける住工共存の進展も見据え、工場やオフィスの集積を図ることと併せて、良質な住宅や生活に身近な商業施設などの充実を図るため、用途地域が近隣商業地域に変更されたことから、隣接地域のゾーニング状況との整合性等を踏まえ、「その他の商業系地域」に変更します。

(参考) 都市計画の見直し

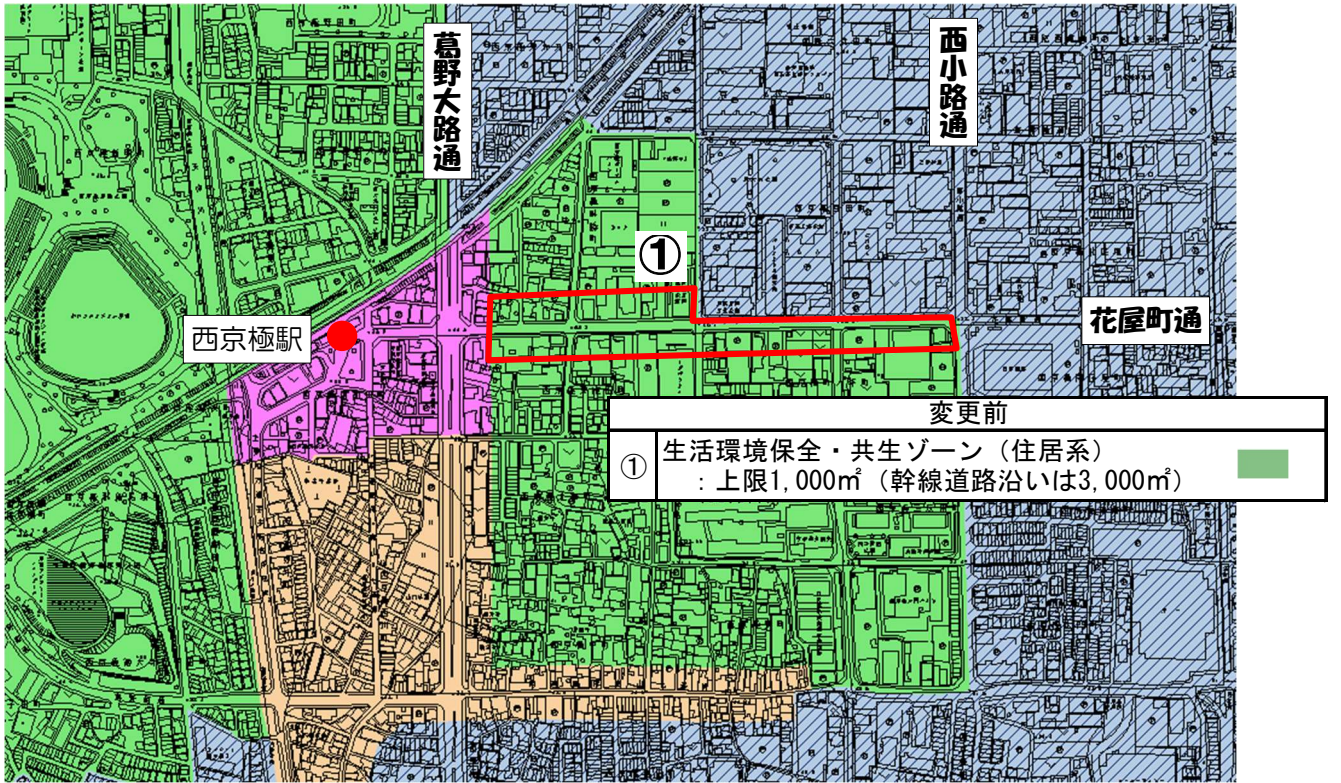
従前



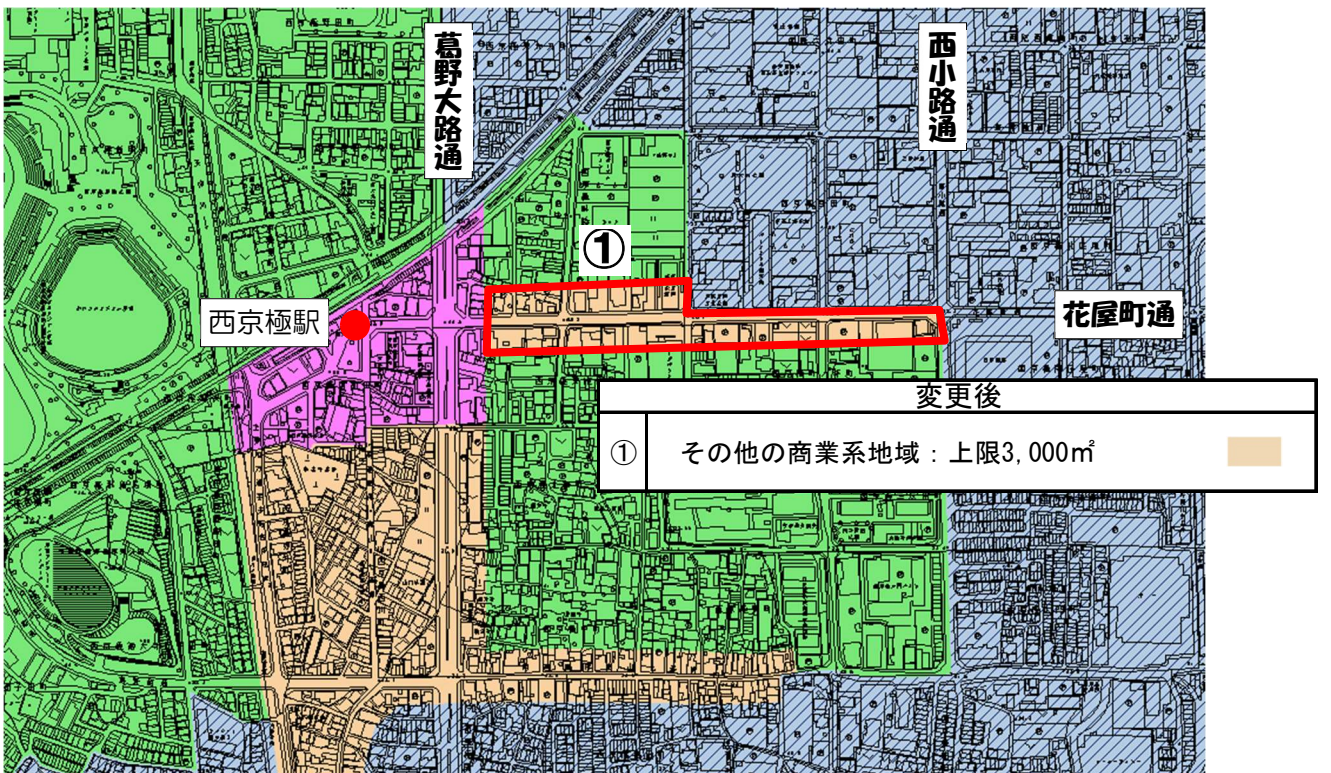
現行



ガイドプラン見直し前



ガイドプラン見直し後

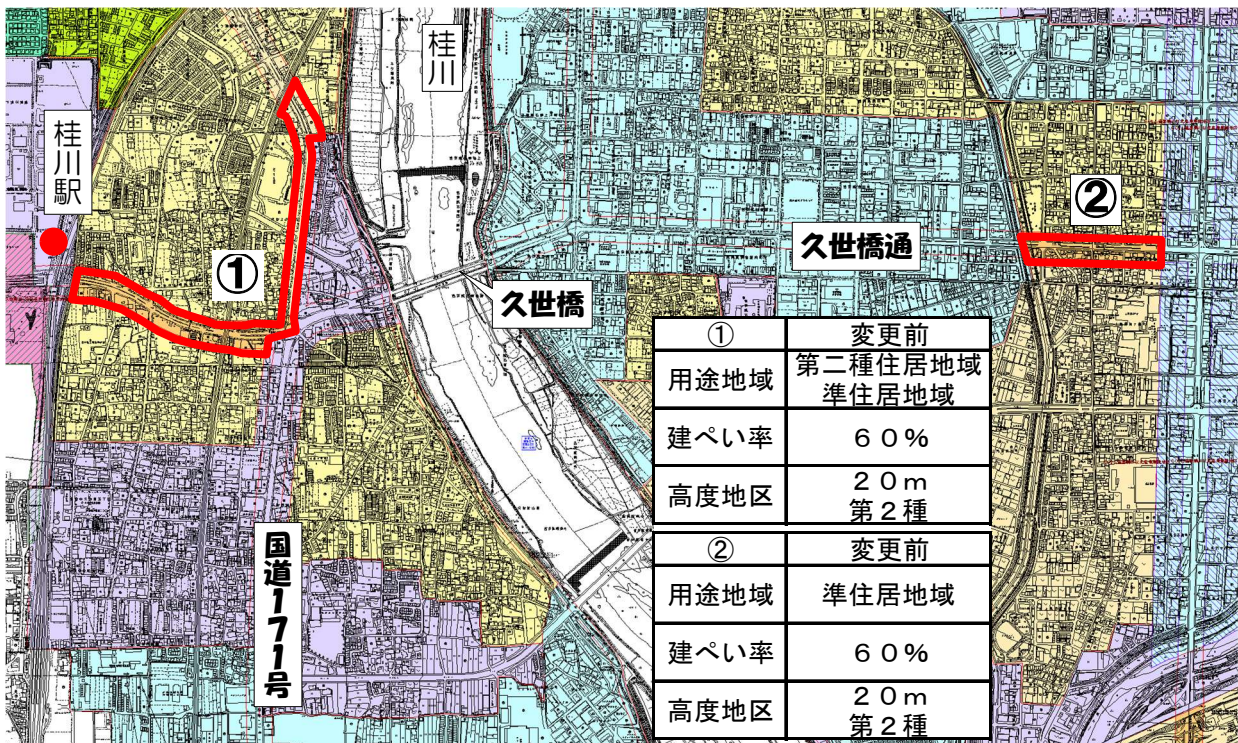


【ガイドプラン見直しの方針・内容】

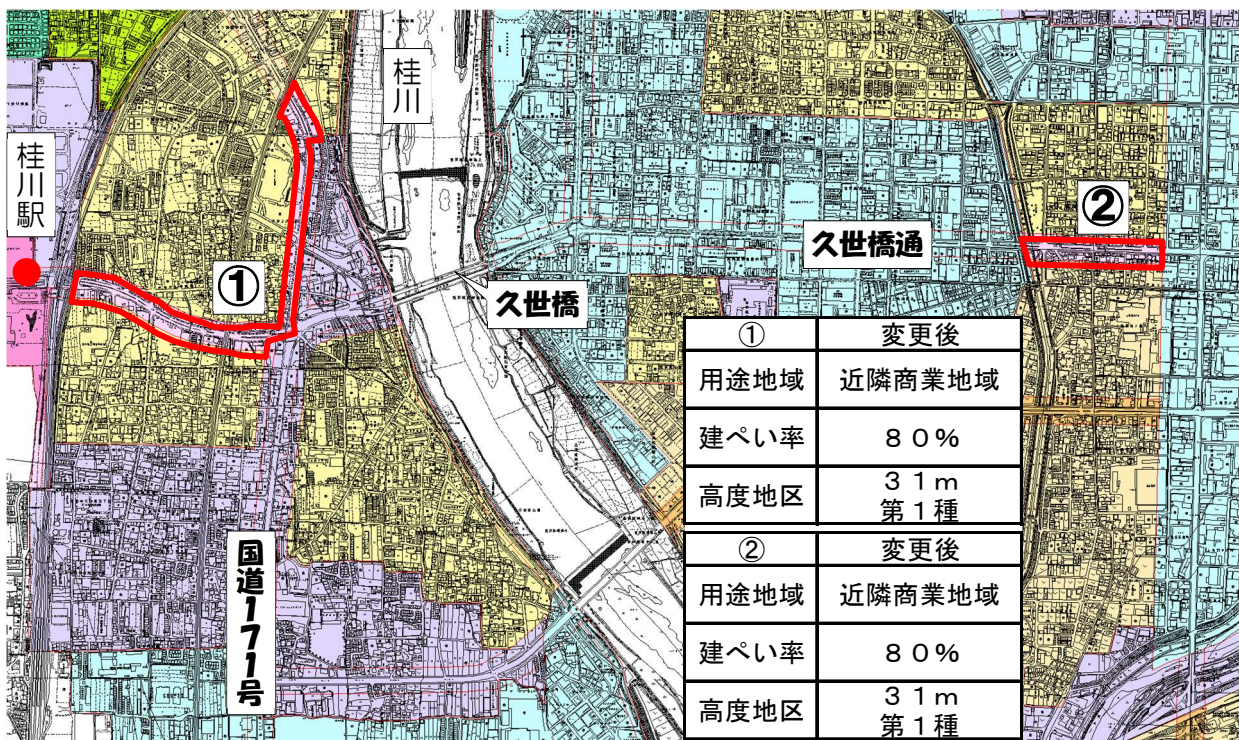
本市及び隣接市の双方における定住人口の求心力となる駅周辺の暮らしを支えることはもとより、南部創造のまちづくりが先導されるらかなん進都のまちづくりの進展を見据え、オフィスや住宅など多様な機能を適切に配置するため、用途地域が近隣商業地域に変更されたことから、隣接地域のゾーニング状況との整合性等を踏まえ、「その他の商業系地域」に変更します。

(参考) 都市計画の見直し

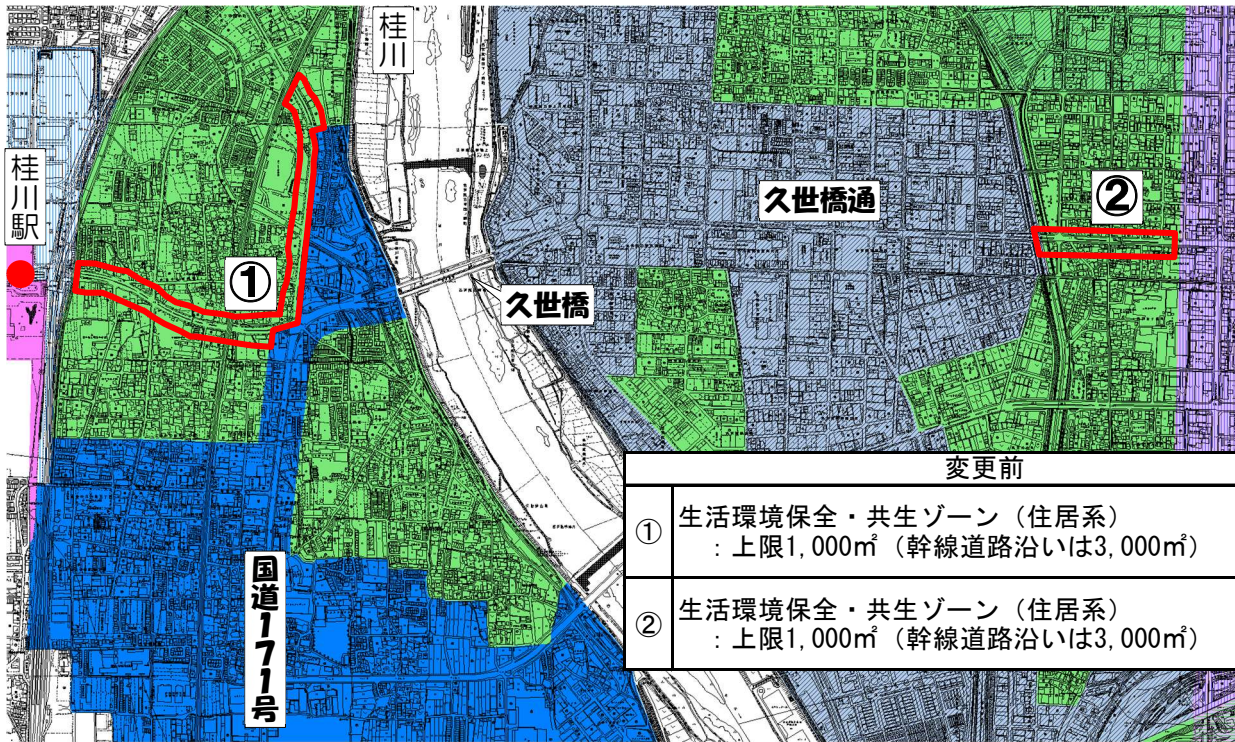
従前



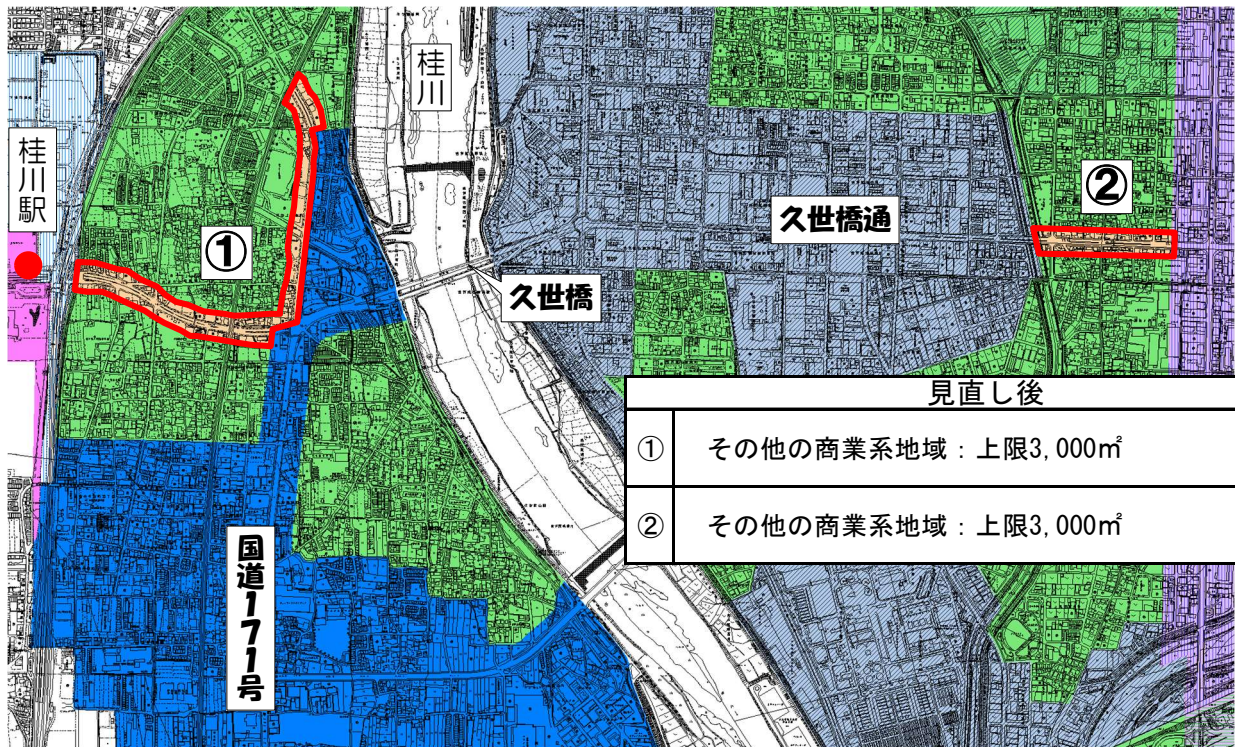
現行



ガイドプラン見直し前



ガイドプラン見直し後

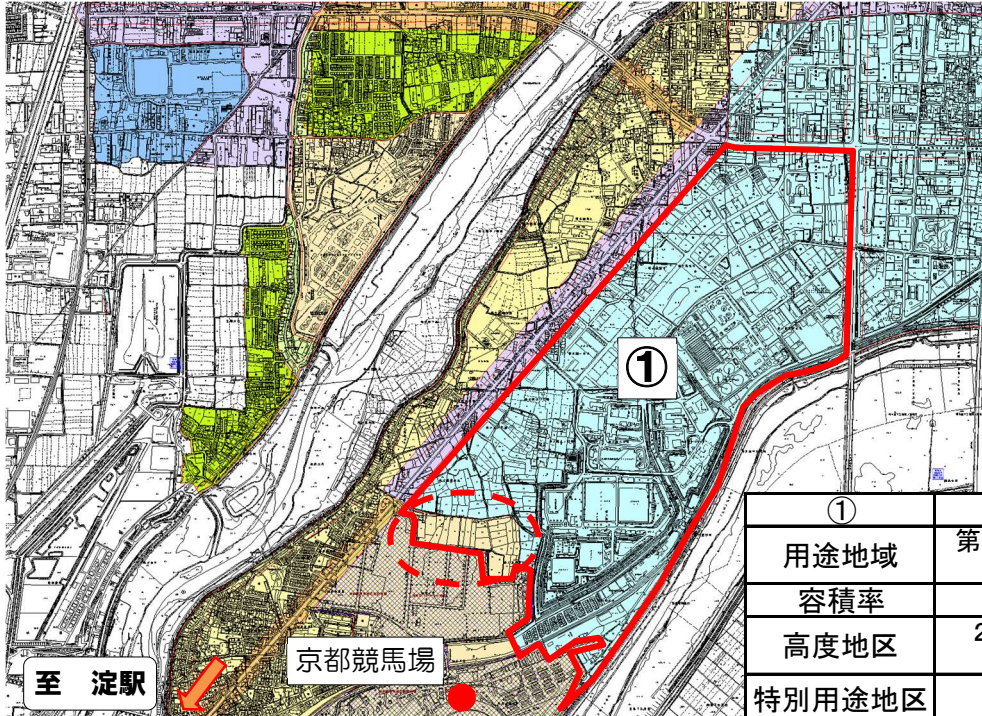


【ガイドプラン見直しの方針・内容】

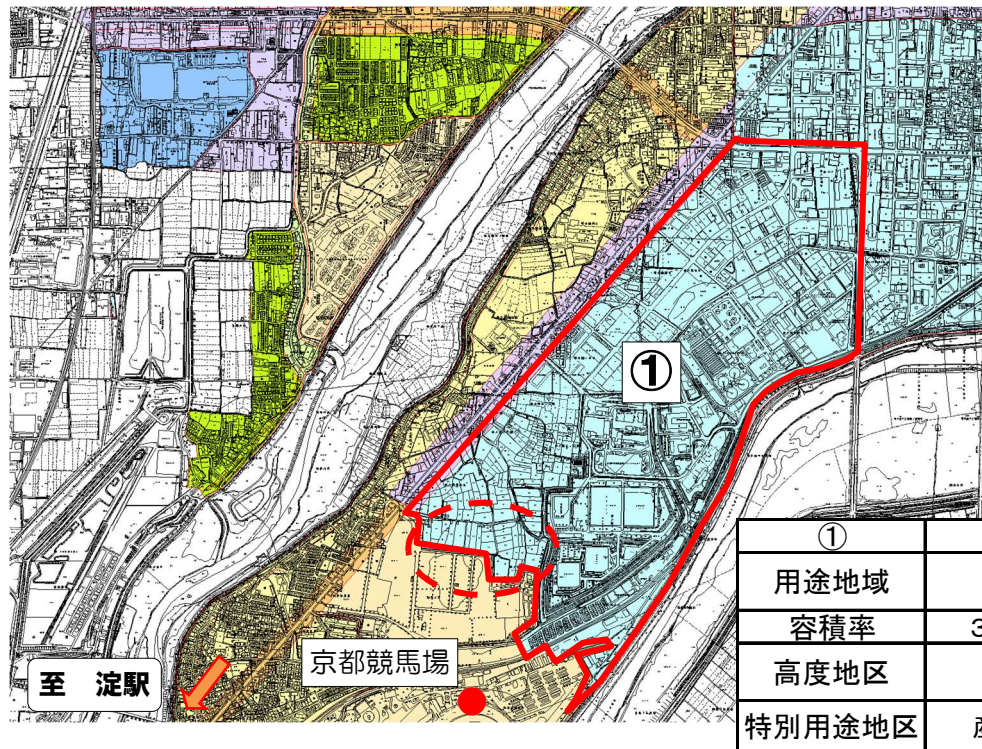
駅周辺の新しいまちづくりの進展に合わせ、住環境とも調和しながら働く場の立地を促進するため、用途地域が工業地域に変更された地域について、隣接地域のゾーニング状況との整合性等を踏まえ、「産業機能集積ゾーン（郊外エリア）」に変更します。

(参考) 都市計画の見直し

従前

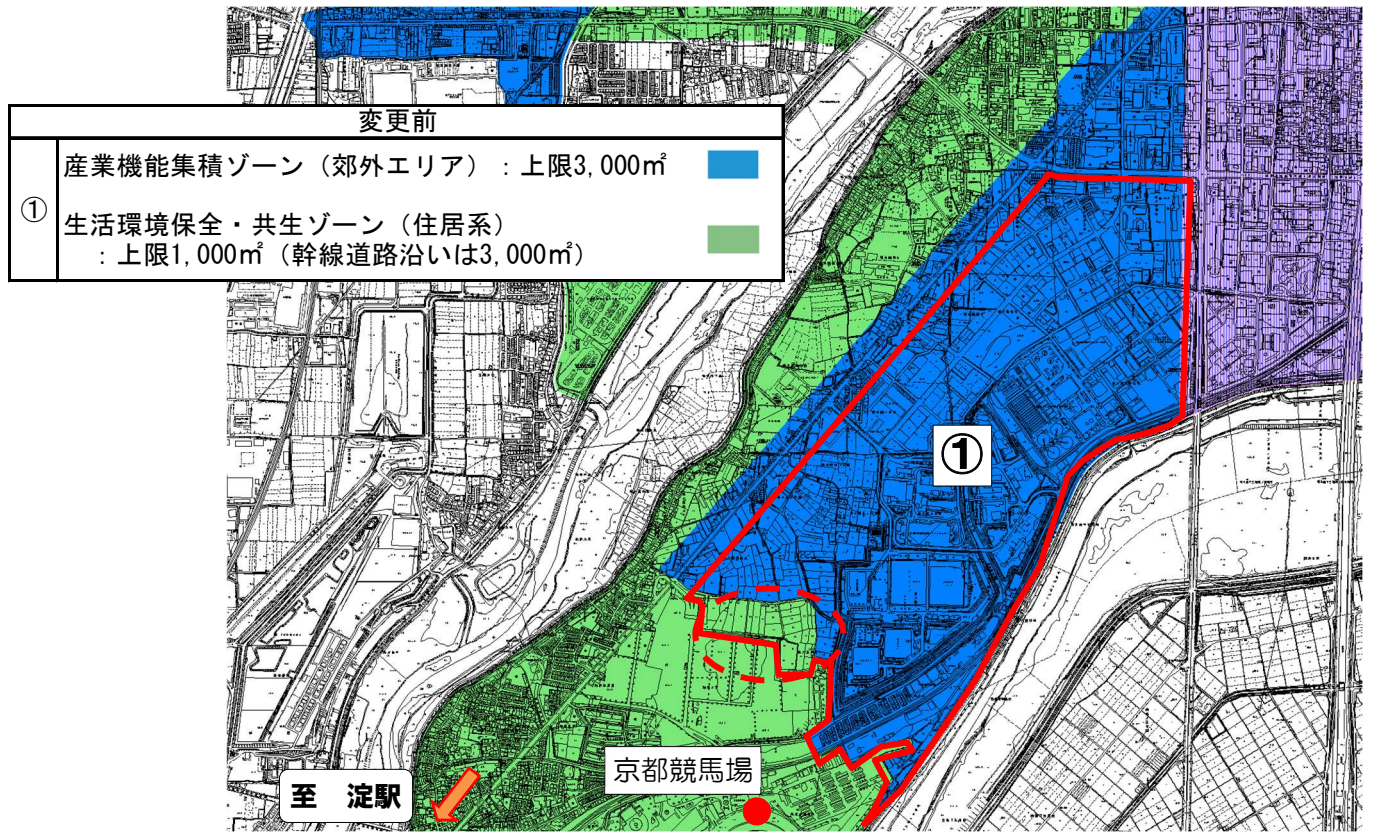


現行



※誘導用途（工場、事務所、研究施設、倉庫）以外の用途に供する建築物については、容積率の最高限度を200%とする。

ガイドプラン見直し前



ガイドプラン見直し後

